清峰など4校シード

九州高校野球県大会14日開幕

第133回九州地区高校野球県大会(秋季大会)の組み合わせ抽選会が3日、長崎市の県営ビッグNスタジアム会議室で行われ、出場55校の対戦相手が決まった。来春の選抜大会(甲子園)の選考資料となる九州大会の出場権(2枠)を懸け、14日から10月14日まで熱戦を展開する。

各地区の新人大会を制した海星、創成館、清峰と、今夏の甲子園に出場した佐世保実の4校がシードされた。今夏の県大会同様、シード校を軸にした混戦が予想される。どのチームも打撃が発展途上なだけに、投手力が大きなポイントとなりそうだ。

海星は右腕吉田の安定感が増し、打線も平湯を中心につながりがある。2年連続の選抜出場を目指す創成館は選手層が厚く、新人大会中地区決勝で長崎日大に6−0で快勝してきた。清峰は大黒柱の左腕中村が順調に力をつけ、攻撃陣もよく振れている。佐世保実は今季の実践は多くない。1年生投手3人の出来が鍵を握る。

このほか、瓊浦、鹿町工、長崎総合科学大付、波佐見、長崎商、九州文化学園、長崎西、島原農、西陵、佐世保工、諫早なども上位に絡む力を備えている。

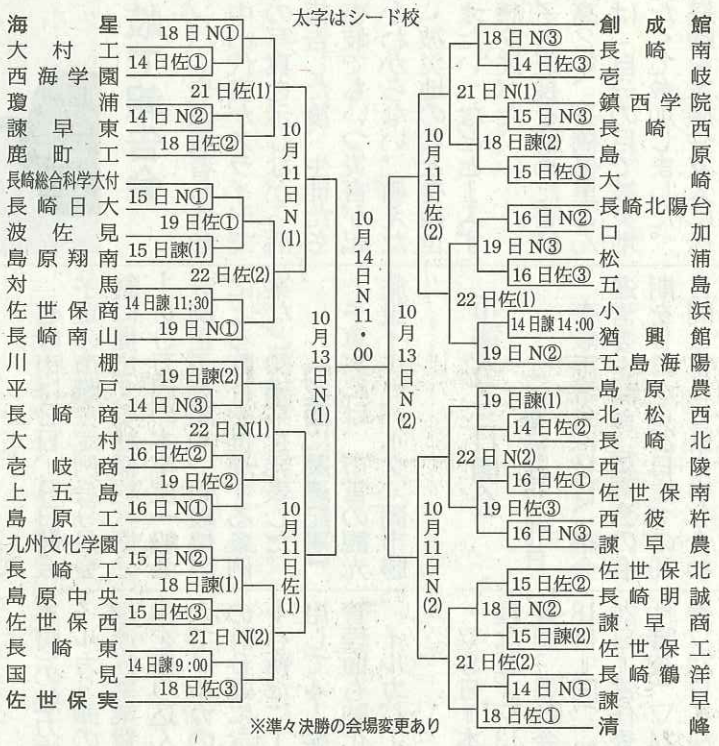
九州大会は10月26~31日、沖縄県で実施される。

(石田慶介)

第133回九州地区高校野球県大会(秋季大会)

N:県営ビッグNスタジアム
佐:佐世保市総合グラウンド野球場
諫:諫早市営野球場
試合開始時間=① 9:30 ②12:00 ③14:30
(1)10:00 (2)12:30

太字はシード校



※準々決勝の会場変更あり

55校 2枠懸け熱戦